

都市再生整備計画 事後評価シート
八幡地区(第2期)

平成29年2月

福岡県北九州市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	北九州市		地区名	八幡地区(第2期)		面積	1,427ha				
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	1,354.5百万円 国費率 0.4							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路:枝光本町前田1号線他(舗装)、枝光本町前田1号線他(LED化)、枝光尾倉1号線(自転車道) 公園:帆柱公園、美術の森公園、枝光公園 地域生活基盤施設:帆柱自然公園展望台整備、帆柱自然公園園路広場・遊具整備 高質空間形成施設:八幡東田グリーングリッド整備											
		提案事業	地域創造支援事業:いのちのたび博物館再整備、八幡東田グリーングリッド推進事業、近代化産業遺産PR事業、血倉山社会実験(イベント開催)、西本町児童館											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設:帆柱自然公園植栽 高質空間形成施設:46億年地球の道、歩行者系サイン整備 高次都市施設:血倉山ヒンターセンター、河内市民サブセンター	削除/追加の理由 他の事業を活用して実施した事業、交付期間内での実施が見込めない事業を計画から削除する。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 指標、数値目標への影響は少ないため、指標及び数値目標は据え置く。						
		提案事業						-						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路:枝光本町前田1号線他(自転車道)、八幡停車場線他(LED化)	安全で快適な道路空間の創出を図るため、計画に追加する。				指標、数値目標への影響は少ないため、指標及び数値目標は据え置く。						
		提案事業						-						
交付期間の変更	当初変更	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	緑被率	%	16	H23	18	H28	モニタリング	評価値	17	△	あり なし	公共用地では、東田大通り公園、スペースワールド駅前広場の植栽整備、枝光尾倉1号線、枝光本町前田1号線の中央分離帯への高木植栽などにより緑地面積が増加した。 民有地では、未利用地の住宅地、商業地への転用が進む中、住宅地では緑化も進み、緑被率が増加した。 一方、商業地では敷地面積の増加に対し、十分な緑化が進まなかったため、地区全体の緑被率目標値を達成することができなかった。	
	指標2	観光・文化施設の来館者数	人/年	515,623	H23	530,000	H28		633,711	○	あり なし	いのちのたび博物館の再整備により、来館者数が大幅に増加した。リニューアル直後のH25年度は、全国規模で各種メディアの関心を集め、来館者数の急増を後押しした。	H28.6月	
	指標3	市民参加の取組み数	人	0	H23	2,500	H28		2,720	○	あり なし	環境ミュージアムを拠点に、環境学習をテーマとしたワークショップを開催し、多くの市民の参加を得た。 環境意識の向上を図り、市民との協働によるまちづくりにつながっている。	H28.6月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
その他の数値指標2														
4) 定性的な効果発現状況	毎年、本市が実施している市民意識調査(平成28年度中間報告)では、市政評価上位のうち、4位に「緑のまちづくりの推進」、7位に「大気・騒音・水質などの環境保全」、9位に「都市景観の整備」、11位に「地球温暖化対策などの推進」が位置しており、八幡地区が取り組む環境共生まちづくりにおいても、市民の理解と高い評価がまちづくりの推進につながっている。また、地区内に環境共生住宅が立地するなど、官民協働のまちづくりが進んでいる。													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									-		
	住民参加プロセス	・環境学習をテーマとしたワークショップ等の開催 ・近代化産業遺産を巡るバスツアーの実施 ・山歩きファッションショーの開催 ・帆柱自然公園整備の検討	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● 今後も市民の環境意識とまちづくりへの理解の向上に努め、協働でまちづくりを推進していく。		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									-		

様式2-2 地区の概要

八幡地区(第2期)(福岡県北九州市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 環境首都を担う先進モデル地区としての整備を推進し、また、観光・文化施設の集積・機能の強化を図り、環境・観光・文化が融合した、市民(市民・企業・行政等)の協働による、多くの人が集う未来をつなぐまちづくりを目指す。 目標1: 環境モデル都市における先進モデル地区の創造 目標2: 観光施設・文化施設の集積・機能の強化 目標3: 市民と協働によるまちづくりと、地域の連携の強化	緑被率	%	16	H23	18	H28	17	H28
	観光・文化施設の来館者数	人/年	515,623	H23	530,000	H28	633,711	H27
	市民参加の取組み数	人	0	H23	2,500	H28	2,720	H27



【近代化産業遺産PR事業】



【いのちたび博物館再整備】



【西本町児童館の整備】



【帆柱自然公園の整備】



□提案事業
近代化産業遺産PR事業

○関連事業
戸畑大谷線(尾倉トンネル)

□提案事業
いのちたび博物館再整備

□提案事業
西本町児童館

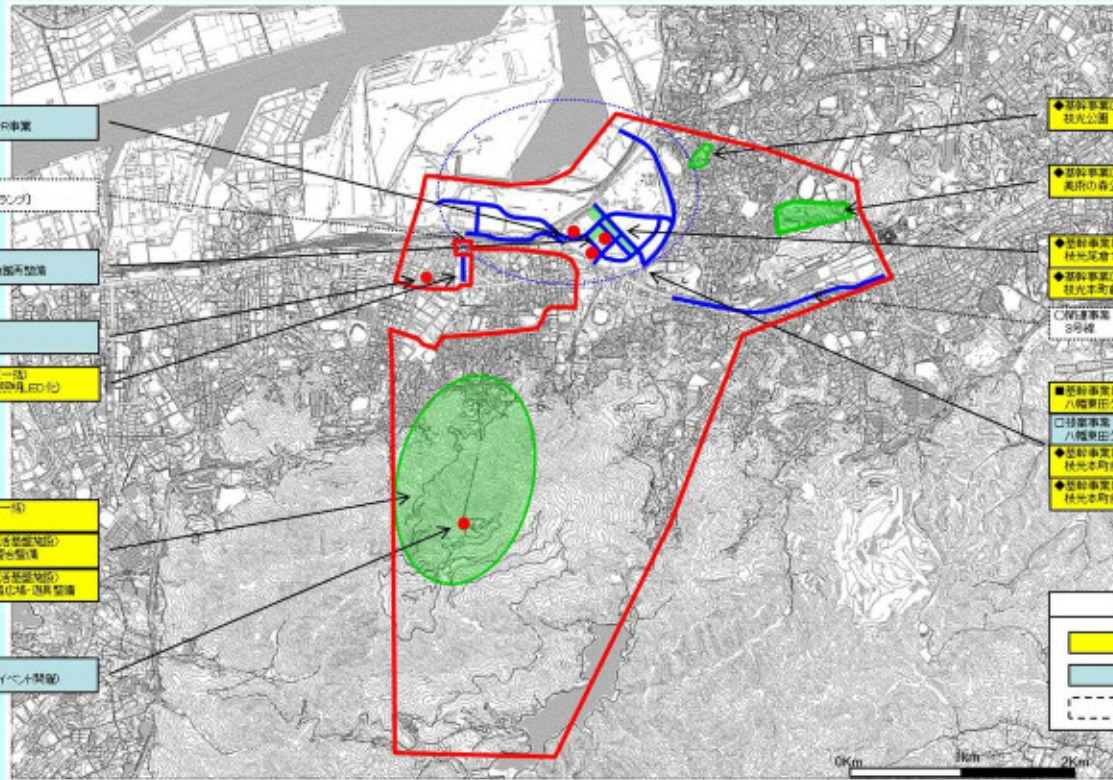
◆基幹事業(公園)(一地区)
八幡東田緑地(2024年度)

◆基幹事業(公園)(一地区)
帆柱公園

■基幹事業(環境共生型施設)
帆柱自然公園(環境共生型)

■基幹事業(環境共生型施設)
帆柱自然公園(環境共生型)

□提案事業
戸畑山社会実験イベント開催



凡例	
■ (Yellow)	基幹事業
■ (Blue)	提案事業
- - - (Dashed)	関連事業



【枝光公園の整備】



【枝光尾倉1号線の整備】



【八幡東田グリーングリッド整備】

まちの課題の変化

- 東田地区の緑被率(17%)は、一般的な既存市街地と比べて低いため、市民と協働で緑化に取り組む必要がある。
- 平成27年度の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」世界文化遺産登録などの効果を地区内に波及させるため、観光・文化施設が連携して更なる観光振興を図る必要がある。
- 国民の祝日として、8月11日が「山の日」に制定されたことを契機として、市のシンボルである「血倉山」の魅力づくりと観光振興を図る必要がある。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

- 市民に環境学習及び交流の場を提供することで環境意識の向上を図り、環境首都を担う先進モデル地区として、市民との協働による環境共生型のまちづくりを推進する。
- 緑化助成等による緑化の促進や緑の健全な生育により緑被率を高め、緑の展示場「オープンエコミュージアム」の成熟を図る。
- 血倉山の自然とふれあう施設の充実やイベント開催など、観光・文化施設が連携して情報発信・魅力づくりを行い、回遊性を高め、観光振興を図る。